



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」 発行所 公益財団法人友愛 〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13 小石川文京ビル2階 TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186 E-Mail:you-i@yuai-love.com http://yuai-love.com 編集人：羽中田元美 隔月1回 10日発行 会費(4月~3月) 個人/3,000円以上 法人/10,000円以上

第37回通常理事会開催

各事業進行状況など報告・活発な事業推進状況

2024年度OEJAB派遣員承認

11月7日(木)18時より、第37回通常理事会が開催された。5月に韓国で実施された「友愛小論文コンテスト」の表彰式実施、ミャンマー農業支援事業における「堆肥づくりリーフレット」の作成進行状況、2024年度OEJAB派遣員について選考委員会の答申承認、「友愛ユニオン」を組織として確立し、財団内でのような位置づけをするかなど、現在行われている事業の進行状況が報告された。多岐にわたる事業展開、組織強化の方向性など、いずれも公益財団法人友愛が活発な活動を続けている証となる内容であった。

出席者 鳩山由紀夫理事長・井上和子理事・谷藤悦史理事・中島政希理事・芳賀大輔理事・井田安信理事・西川伸起理事・攪上哲夫理事・南楚幸信理事・鳩山太郎理事・山口千恵子理事・後藤大智理事・金沢俊弘監事・海方亨監事



鳩山由紀夫理事長



井上和子理事



谷藤悦史理事



中島政希理事



芳賀大輔理事



西川伸起理事



友愛事務局のあるビルの3階にある友愛サロン。毎回この場所が理事会・評議員会の舞台となる。大きく円を描くように席を設け、理事長を中心にそれぞれの理事、監事の顔もよく見えるように配置されている。毎回関連な議論が交わされ、公益財団法人友愛の運営方針が決定されていく

☆藤井名誉教授及び南楚理事監修のもと作成している。 ☆現在ミャンマー語に翻訳中/在日のプーさんの妹メイさんと10月17日(木)実際のリーフレットについて打ち合わせ実施。藤井名誉教授及び南楚理事の作成してくれた原案を2冊に分割し、「初心者向け堆肥について」「上級者向け緑肥の効果」の2部作で制作を進める方向で、翻訳中 ☆翻訳のあらましができ次第、現地研修員に送り、実際の状況とのすり合わせを行う。この際研修生として来日したティンさん及びプーさんを中心に実施してい



攪上哲夫理事



南楚幸信理事

く旨が報告された。併せて、ミャンマーの自然災害及び現状についても報告があった。 ②友愛小論文コンテスト/ 攪上理事 1、韓国/全州大学校での表彰式開催の報告 *10月24日(木) 全州大 学校に於いて表彰式開催* 賞状授与 鳩山由紀夫理事長・賞金授与 攪上哲夫理事 *同行・攪上哲夫理事

友愛時評

▼「大接戦」が予想されていた米大統領選挙はトランプ氏が早々に当選を決めた。僅差となれば法廷闘争や再集計などで決着に1週間以上かかるのか、そこまで行かなくともスイング・ステートと呼ばれる激戦州の開票は最後までもつれるものと思っていた。▼日本のメディアによる事前予想が大外れであった理由として、特派員の取材源がシンクタンクや大学の研究者などエリート層に偏り、「治安が悪い」とされる地区で庶民相手の取材をしない、というものが説得的であった。もともと、他国の特派員も米国の主要メディアの調査・分析を下敷きに多少の独自取材を加える程度が通例である。振り返れば二〇一六年の大統領選挙も「驚くべき番狂わせ」であり、米国の(特に民主党系の)メディアは、どうにもトランプ現象を正確に把握できないようである。▼兵庫県知事選でも、事前予想は大外れとなった。こちらは「ネットの勝利、オールドメディアの敗北」とも評され、大手メディアにとつては深刻な事態である。一次情報に接することのない他県の者から見ると、何が事実なのか、誰の主張がもつとも正しいのか、全く判断がつかない。都知事選での「石丸現象」に引き続き、SNS時代の民主主義の可能性を示したことは大いに評価できる。だが、ファクトチェックが十分でない情報に基づき、印象と熱気に左右される選挙には、ポピュリズムの落とし穴も待っている。新旧メディアには、正確で信頼性の高い報道の再興を願うばかりである。(ヒゲ)

芳賀大輔理事・戸澤英典選考委員・羽中田元美事務局

代表して友愛賞受賞の朴智勇さんが、感謝の言葉述べた

作品集350部贈呈
以上の内容が、掲示された写真と共に報告された。

また、韓国延世大学校での開催に関して検討中であることが報告された。

延世大学校学生と友愛ユニオンによるテーブルディスカッションを想定

2025年度事業として検討/延世大学校は2025年5月に創立140周年を迎えるため、その際の記念事業として実施したい

山口千恵子理事



意向がある。

2、今後の予定

☆千代田国際語学院との交流/卒業生(日本語が堪能)と友愛ユニオンとのテーブルディスカッション

☆参加卒業生は、中国・ミャンマー・ネパール・ベトナムと様々な国籍の方々。

☆テーマの選択について、友愛ユニオンで相談中・開催時期:2025年1月下旬~2月上旬予定。

以上、友愛小論文コンテストが韓国/延世大学校及び国内の日本語学校でも開催が検討されている旨が報告された。

後藤大智理事



③OEJABの派遣事業について/西川理事

2024年度OEJAB派遣事業関連

2024年度OEJAB派遣員募集終了/9月23日(月・祝)・応募総数71名

女子51名・男子20名

一次選考で12名までに絞り込み、二次面接実施予定者とした。

10月26日(土)選考委員(8名)による面接実施(11名面接/1名辞退)

戸澤選考委員・西川選考委員の内2名づつが直接面接にあたり、他の選考委員は、Webにて参加する方針で行われた。また、終了

金沢俊弘監事



後選考委員会が開催され、理事会宛の答申書がだされた旨報告された。(関連:下記掲載記事)

答申書は、本理事会の協議事項となっており、報告事項終了後、採決が行われ

2024年度OEJAB派遣員は、選考委員会答申書通り承認された。

続いて、12月に開催予定の、OEJAB派遣員の事前勉強会と同日に開催される友愛ユニオン勉強会について、内容が発表された。

12月14日(土)2024年度OEJAB派遣員の事前勉強会開催(予定)

同日友愛ユニオン勉強会及び同窓会開催

講師・クルド人の難民救済に携わっている弁護士/大橋毅さん及びNPO法人「難民支援協会」の方(予定)

今年度の友愛ユニオン勉強会は、かねてより友愛ユニオンメンバーが高い関心を示している「難民問題」を取り上げ、実際に難民支援に携わっていらっしゃる弁護士の方、NPO法人の方をお招きして行われることとなった旨報告された。

④友愛ユニオン刷新について/後藤理事

派遣員・訪問団・インターンなどの活動基盤となる「友愛ユニオン」を再構築・明文化し、公益財団法人の中での位置を定める。

12月14日(土)開催の友愛ユニオン勉強会に於いて、意見の集約を図る。

現在OEJAB訪日団のアテンド、韓国でのテーブルディスカッションと活躍

を続けている「友愛ユニオン」について、公益財団法人としての位置づけ、構成メンバーの定義など、更なる活動を推進するために

も、明文化してガバナンスの充実を図る案が、後藤理事から報告され、今後の推進を託された。

(3)その他事項

最後にその他事項として、芳賀大輔理事より、先の理事長挨拶にも触れられていたこの度出版された書籍「鳩山の友愛」について、概略が説明された。

韓国における「鳩山の友愛」出版について/芳賀理事

「ここ数年来鳩山理事長は、訪韓を重ね現在の尹錫悦大統領とも交友を続けていらつしやいます。

そうした訪韓の折りの鳩山理事長の言動(例えば墓参りの折りに韓国式のお辞儀の方法で地面に膝をついてお参りしたことなどに感銘し、創作意欲を触発された韓国の作家具滋亨先生が鳩山由紀夫先生のこれまでにについてノンフィクションの作品を著したいとのお申し出がありました。

その後、具滋亨先生と何回かお会いし、インタビューを受け、それらの事が今回の本となって出版されました。自分では書いていないので自叙伝ではありませんが、これまでの事など書かれていて、自叙伝に近い内容になっています」と詳しい説明と共に、実際の本を示し報告した。

以上を以て第37回通常理事会を終え、午後8時10分会議を終了した。

OEJAB派遣員選考

初めての面接選考実施

11名の応募者が次々と来所

10月26日(土)午前9時から、友愛事務局(友愛サロン)において、2024年度OEJAB派遣員の面接選考が実施された。

これは選考方法として初めて取り入れられたもので、昨年度まで応募者はそれぞれ指定の書類(応募用紙・教授推薦状・成績表・各人の応募動機などを綴った作文)と自身で作成した、1分間動画を添えて応募していた。

昨年度の選考を終えた後の選考委員会では、「1分間の動画を全員分観ることは、かなりの労力を要する。しかしその労力の割には、実際の人物像を掴むのは難しい」との意見があり、書類選考で絞った後、全員(12名)に面接選考を行いたいとの方向に固まった。

実際に面接選考となると、各人の時間割もさることながら、選考委員の負担も大きい。後藤理事は、次々と来所する応募者全員に、丁寧にそして熱く、友愛活動の重要性、楽しさを語った。

午後9時から17時までの長時間にも関わらず、選考委員の皆さんは真摯に向き合ってくれました



午後の部は、谷藤選考委員と西川理事が直接の面接者として対応。時には鋭い質問もありました



韓国から帰国したばかりの攪上理事も、受付で大活躍。穏やかな笑顔が受験者を和ませました



各選考委員の反応も良く、やはり会って初めて解ることも多い、書類選考、動画選考では難しいとの意見も多くあった。これを受けて、次年度も同様に面接選考を取り入れる方向で、募集を進める事が検討されている。

理事會へ提出の選考結果 (一面掲載の第37回理事会で承認された答申です)

岩岡優太/千葉大学医学部5年・尾田夏野/京都大学総合人間学部3年・木島優美/東京科学大学医学部6年・佐々木太一/北海道大学大学院修士2年・須黒正也/筑波大学人文・文化学群4年・坪山 倫/東京大学文学部4年

(敬称略掲載は五十音順) 以上男子学生4名女子学生2名が2024年度OEJAB派遣員として活躍することとなった。





韓国 全州大学校における「友愛小論文コンテスト」表彰式実施

鳩山由紀夫理事長から友愛賞賞状が贈られる

友愛賞受賞の朴智勇さんが受賞者を代表して挨拶

韓国で行われた初めての「友愛小論文コンテスト」事業は、全州大学校の多大な協力を得て、成功裡に終了した(589号既報)。寄せられた作品を厳選に審査し受賞者が決まった。直接賞状を手渡したいとの思いから、多忙な時間をぬって鳩山由紀夫理事長自らが再度全州大学校を訪れ、学生達との交流のなか表彰式を挙行了した。



鳩山由紀夫理事長から友愛賞の賞状が授与された。緊張しながらも笑顔で受け取る朴智勇さん。迫力のある立派な体躯の学生



全州大学校 バクジンベ総長お忙しい中表彰式にご出席ください。受賞者にお祝いの言葉を贈った。韓日の関係を深めたいと挨拶



私にとって生涯忘れられない栄誉です。と挨拶した朴智勇さん。理事長もその作品の着眼点について、素晴らしいと評価



摺上哲夫(小論文コンテスト担当)理事より、賞金が授与された。日本式に水引で飾ったのし袋を用意して皆さんに差し上げた



それぞれの作品を再度読み直し、全て素晴らしい作品であると思えました。特に友愛賞の、竹を友愛の関係になぞらえた作品はと総評



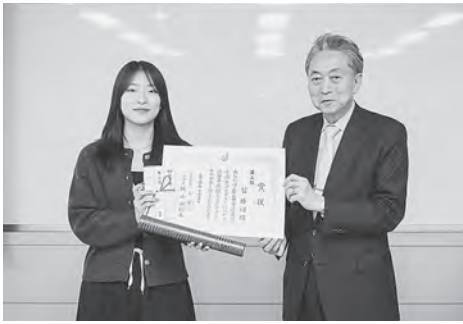
講演で韓国を訪れていた戸澤英典選考委員も友愛一行と合流して、表彰式に参加してくださいました。皆さんの熱意を感じましたと挨拶



全州大学校日本語学科の片龍雨教授。笑顔の爽やかな素敵な先生。鳩山由紀夫理事長と一緒に「友愛」を示す指でつくるハートを!



友愛賞受賞の朴智勇さんが、受賞者を代表してお礼の言葉を述べた。貴重な体験で、今後の人生の励みになると流暢な日本語で



第2位受賞 イムハネさん。タイトルは「私にとって友愛とは?」一自らの経験を基に綴り、世界に平和が訪れることをと結んだ



大きな教室に受賞者を始めとする多くの学生が集まった。皆鳩山由紀夫理事長の講話を聞き、テーブルディスカッションにも参加



第3位受賞 李松法さん。タイトルは「私にとって友愛とは?」一章立ての見事な考察を展開した作品



第3位受賞 鄭善丞さん。嬉しそうに賞金ののし袋を手に。タイトルは「私にとって友愛とは?」一輝く未来のために

10月24日(木) 韓国の全州大学校に於いて、2024年度「友愛小論文コンテスト」の表彰式が行われた。去る5月に開催された、講演会など、日韓交流事業の際に募集し、寄せられた作品のなかから、8名の選考委員会の厳選な審査を受け、表彰対象となった作品に賞状、賞金が贈られた。友愛からは鳩山由紀夫理事長、芳賀大輔理事、摺上哲夫理事、戸澤英典選考委員、羽中田元美事務局長が参加した。

24日早朝、日本を発ち、ソウル(金浦空港)に到着後、車で約40分のところにある、KTX(新幹線)の駅に移動。KTXに乗車すること約2時間、その後再び車で40分の全州大学校に到着と、強行スケジュールでの訪問となった。午後4時という時間にも関わらず、全州大学校は、バク総長を始め片教授ほか多くの学生さんが笑顔で迎えてくださった。

大きな教室に受賞者を始めとする多くの学生が集まった。皆鳩山由紀夫理事長の講話を聞き、テーブルディスカッションにも参加

全員での記念撮影を終え、友愛一行は再びソウルに向けて出発した。

式」の看板が掲げられ、構内に入る入口にも、大きな看板が設えられており、大学を挙げての歓迎ぶりが見えた。

同行の戸澤英典選考委員は講師として、「作品だけに伺って皆さんの活気ある表情にお会いできたことで、さらに作品への評価が高くなりました」と述べ、大きな拍手が湧いた。

こちらはみんなで揃って「友愛のシンボル」を表す、「指でつくるハートマーク」を。バク総長も、鳩山理事長も全員揃って友愛!





入選の金村浩さん
タイトルは「私の友愛とは」コロナ禍の経験から結束力としての友愛を考察、独自の切り口で



入選の金村浩さん
タイトルは「私にとって友愛とは？」友愛とは地球を愛することだと、自然保護の観点から友愛論



入選の林瑠燈さん
タイトルは「私にとって友愛とは」初めて友愛という言葉と向き合った考え方の推移を見事に綴った

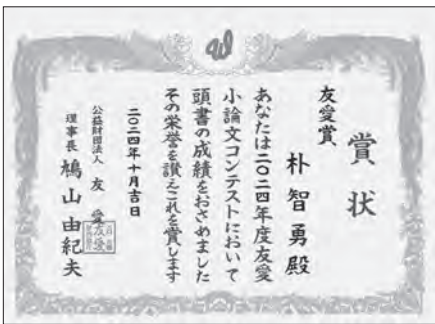
友愛賞受賞作品

友愛と竹

朴智勇

私の考える友愛とは、友情や愛情を通じて他者を思いやり、互いに助け合うことである。それは人間関係の基本であり、人と人が、国境を越えて互いに支え合い、理解し合い、共に成長するための基盤となる重要な概念であると考えられる。そして、私はこれを「竹」で象徴することができると思う。

このような竹の性質は、まさに私が思う友愛の本質であり、それを象徴するものだと思う。それでは、竹になぞらえて今の日韓の関係を説明してみよう。日本と韓国は同じ東アジア文化圏に属する国として、人種、文化、地理、歴史、社会のあらゆる面において極めて近い関係にある。しかし、現在の日韓関係は、歴史認識の相違や政治的・経済的な対立、メディア教育による偏見などが、双方の誤解や不信感を増幅させ、協力や友好関係の構築を妨げる主要な原因となっている。これはまるで、竹が同じ土壌かつ隣で根を張りながらも、その成長過程で調和や絡み合いができず、美しい竹林が形成されない非現実的な状態のようである。しかし、日韓も竹のような友愛の精神を心掛け、互いの文化や歴史を尊重し、理解し合う努力を続けるならば、共に繁栄し、友好関係を築けるに違いないと思う。竹が根を張り絡み合うことで暴風雨に倒れないように、しなやかに揺れることで強風を耐え抜くように、日韓関係も強い絆を持ち、柔軟な姿勢を持つことで、困難な問題を乗り越え大きな成長を遂げられるであろう。私は京



*第二位、第三位、入選作品など友愛HPに掲載しております。是非アクセスしてご覧ください。

2024年度 年会費納入のお願い

今年も残すところあと一ヶ月となりました。いつも公益財団法人友愛にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。公益財団法人友愛の活動は、皆さまの会費で支えられております。今年度の年会費は、12月末日までにお送りいただきますと、2025年1月に領収書をお送りしますので、3月の確定申告に間に合います。今月号に同封の振込用紙をご利用いただき、2024年度会費の納入をお願いいたします。郵便法の決まりから、お願いのお手紙を同封することができません。悪しからずご了承賜りますようお願い申し上げます。

税額控除対象です！
公益財団法人友愛は、税額控除の認定を受けている公益財団法人です。
「友愛」に収めていただいた会費は、「公益法人に対する寄付」として、税額控除が受けられます。
ユニセフなど他の法人への寄付と合計して申請してください。ふるさと納税の要領と同じです。そのため、領収書に記載する住所は、住民届けの住所である必要があります。
*ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

会費振込用紙について

金額をご記入ください

金額をご記入ください

金額をご記入ください

個人:3,000円以上
法人:10,000円以上

事務所(店舗)が自宅と同じ住所の場合「自宅兼事務所」などご記入ください

〒112-0002 文京区小石川 1-10-13
染井 よしの
03-5684-3188

払込取扱票

振替払込請求書兼受領証

◆5月の韓国全州大学校で参加の友愛ユニオンメンバーは、壇上で堂々と「私にとって友愛とは」を披露しました。それに続くテーブルディスカッションでも、全州大学校の学生さんとも、すでに既知の友人の如く、楽しく会話をしていました。夏のOEJAB来日の折りのアテンドも友愛ユニオンメンバーは大活躍でした。端で見ていて誇らしい気持ちになります。本当に友愛を理解しよう、実践しよう、と前向きな姿勢が素晴らしいです。そうした中、学校も学年も違う、既に社会人になったメンバーも含めて仲良く議論している姿は、微笑ましく、頼もしくあります。今年もさらに6名のメンバーが増えます。友愛の未来が明るいのです。(も)

編集後記

公益財団法人友愛ホームページQRコード

写真満載の友愛の活動記録をはじめ、機関紙『友愛』のバックナンバー・定款等の情報など、多くの情報を掲載しております。スマートフォン版は左のQRコードからご覧いただけます。